

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	1学期前半
中高・学年	中学校・2年	授業時数	期間/年間	教科書名	東京書籍
副教材1		副教材2		副教材3	

年間の到達度目標	<p>実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる</p> <p>○衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用する力を身につける ○生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につける ○衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造する力を身につける ○家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につける</p>
----------	---

到達度目標(含定期テスト)	<p>食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択する力を身につけさせる。 実習計画を立て、安全と衛生に配慮し能率的に課題に向けて取り組む力を身につけさせる。</p>
---------------	--

標準テスト等の目標

月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
4	2わたしたちの食品の選択と調理	1	食品が食卓に上がるまでを考える	食生活に関心を持ち、家庭生活をよりよくするためにすすんで知識を活用しようとしている。 食品がどうやって食卓に上るのか理解できる。	ノート 自己評価表 テスト
		2	家族のための食事の計画 (課題) 家族のための食事計画	食事の役割や健康のことを考えて計画を立てようとしている。 家族の嗜好や目的に応じた食事の計画を考え工夫している。 献立作成の方法について理解し作成できる。	ノート 課題プリント 自己評価表 テスト
		3	食品の選び方を考える 生鮮食品	自分の作成した献立の食品はどのように運ばれてくるのか関心をもっている。 食品を時間・費用・嗜好・環境などの面から無駄のないように選択できるよう考え工夫している。 生鮮食品の見分け方・旬を知る。	ノート 自己評価表 テスト
5	2わたしたちの食品の選択と調理	4	食事作りに挑戦 (実習) 野菜の切り方	調理実習に興味を持っている。 実習に必要な用具を工夫して使うことができる。 安全で衛生面に留意し能率よく実習することができる。 材料や用具を正しく扱うことができる。 野菜の切り方など実習に必要な知識を理解している。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト
		5	食品の選び方を考える 加工食品・保存方法	加工食品の種類や目的について関心をもって考えている。 加工食品の長所と短所を考え発表することができる 加工食品の種類と特徴を知る。 食品の保存方法を理解している。	ノート 自己評価表 テスト
		6	食品の選び方を考える (実習) ジャムを作ろう	調理実習に興味を持っている。 実習に必要な用具を工夫して使うことができる。 安全で衛生面に留意し能率よく実習することができる。 材料や用具を正しく扱うことができる。 ジャム作りの方法など実習に必要な知識を理解している。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト

指導方法の工夫改善等	課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用
------------	------------------------------------

課題・提出物等	ノート、自己評価表
---------	-----------

未到達者への対応	放課後の補充学習などを行う
----------	---------------

総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等	
-------------------------	--

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目	期間	1学期後半(期末試験)
中高・学年	中学校・2年	授業時数 期間/年間	8 / 38	教科書名 東京書籍
副教材 1		副教材 2		副教材 3

到達度目標 (含定期テスト)		簡単な日常食の調理ができる力を身につけ、自分の食生活を工夫する力を育てる。 食生活の安全と衛生に注意して、食品や調理器具等の適切な管理ができるようにする。			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
5	2わたしたちの 食品の選択と 調理	1	食事作りに挑戦 調理と安全・衛生	調理実習に必要な用具に興味をもち正しい使い方をしようとしている。 調理実習に必要な用具の特徴を生かして活用の工夫を考えられる。 材料や用具を正しく使うことができる。 安全で能率よく実習をする基礎的な技術を身につけている。 簡単な調理に関する基礎的な知識を身につけている。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト
		2	食事作りに挑戦 (実習)簡単な日常食		
6		3	表示の重要性を考える (実習)表示をよみとろう	加工食品の表示にはどのようなものがあるか関心を持って調べる。 表示例を見ながら読み取る工夫をしている。 食品の表示を読み取ることができる。 食品の表示方法を理解している。 食品添加物について理解している。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト
		4	目的にあった食品を選ぶ 加工食品と手作り食品	目的に合った調理法に興味を持って考えている。 どのような状況のときにその調理法を使うのか考え工夫している。 目的に合った食品を選ぶことができる。 状況に応じて食品を選ぶことを理解している。	ノート 自己評価表 テスト
7		5	目的にあった食品を選ぶ (実習)ミートソース	調理実習に必要な用具に興味をもち正しい使い方をしようとしている。 調理実習に必要な用具の特徴を生かして活用の工夫を考えられる。 材料や用具を正しく使うことができる。 安全で能率よく実習をする基礎的な技術を身につけている。 簡単な調理に関する基礎的な知識を身につけている。	ノート 実習態度 実習技能 自己評価表 テスト
		6	目的にあった食品を選ぶ (実習)ハンバーガー		
		7	よりよい食生活をめざして (レポート)環境問題と食生活	レポートに関心を持ちまとめている。 レポートの内容を考慮し工夫をしてまとめている。 参考資料を基にレポートの内容をまとめることができる。 環境問題と食生活の課題を理解している。	ノート レポート 自己評価表 テスト
		8	期末テスト		
指導方法の工夫改善等		課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用			
課題・提出物等		作品、ノート、自己評価表			
未到達者への対応		放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)			
総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	2学期前半
中高・学年	中学校・2年	授業時数 期間/年間	8 / 38	教科書名	東京書籍
副教材 1		副教材 2		副教材 3	

到達度目標 (含定期テスト)		簡単な日常食の調理ができる力を身につけ、自分の食生活を工夫できる。 販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入および活用を工夫できる力をつける。 自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について考え、実践力を身につけさせる。				
標準テスト等の目標						
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法	
9	2わたしたちの食品の選択と調理	1	よりよい食生活をめざして (意見交流)	自分の食生活に関心を持っている。 現在の食生活をふまえさらによりよい食生活ができるように工夫を考えられる。 よりよい食生活を考え意見が述べられる。 理想的な食生活を実践するための知識を身につけている。	ノート 実習態度 実習技能	
		2	食事作りに挑戦 (実習)和食大好き	実習に必要な用具などをに興味を持ち正しく取り扱おうとしている。 実習に必要な用具を工夫して使用することができる。 安全で衛生面に留意し能率よく実習をすることができる。 実習に必要な知識を身につけている。	自己評価表 テスト	
9	3わたしたちの消費と環境	3	ごみのゆくえから考える	現在の消費行動やごみの捨て方について関心をもつ。 ごみのゆくえを知ることにより環境問題と大きく関わっていることを知る。	ノート 自己評価表 テスト	
		4	消費生活について考える 物資・サービス・情報の選択	商品を購入するときを振り返って消費行動について関心を持つ。 大量の情報の中から必要に応じた情報を選択し利用することができるようになる。 多種の販売方法や支払い方法を理解する。		
10	5	消費者としての自覚を持とう (ロールプレイング) 悪徳商法	自分の問題として捉え関心を持ってロールプレイングに参加している。 ロールプレイングなどを通して悪質商法などに引っかからないための工夫ができる。 自分の意見をまとめ発表できる。 契約とは何か理解し、悪質商法などの問題点を知る。			
	6	消費者としての自覚を持とう 中学生の消費者問題	自分を振り返って関心を持っている。 消費者としての自覚を持ち必要に応じた消費行動ができるようになる。 消費者の権利と保護について知る。			
	7	生活の中の環境への影響 自分の生活と環境とのつながり	現在の消費行動やごみの捨て方について関心をもつ。 自分の生活を振り返りごみを少なくする工夫が考えられる。 環境に配慮した生活ができる。 ごみのゆくえを知り環境問題と大きく関わっていることを知る。			
	8	期末テスト				
指導方法の工夫改善等		課題別小グループ学習, 毎時間の自己評価カードの利用, 視聴覚教材の利用				
課題・提出物等		作品, ノート, 自己評価表				
未到達者への対応		放課後の補充学習など				
総合的な学習の時間, 道徳, 特別活動等との関連等						

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目	期間	2学期後半(期末試験)
中高・学年	中学校・2年	授業時数 期間/年間	8 / 38	教科書名
副教材 1		副教材 2		副教材 3

到達度目標 (含定期テスト)		地域の人々の生活に関心を持ち、地域の人々と関わる力を育成する。 環境や資源に配慮した生活の工夫について、課題を持って解決しようとする力を身につけさせる。			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
11	4 私たちのよりよい生活	1	私たちのよりよい生活 環境や資源を考えて生活する	地域の生活に関心を持ち、異なる世代の人と積極的に接しようとしている。 環境や資源を考えて生活するための工夫ができる。 限りある資源の有効な活用する知識を身につけている。	ノート 自己評価表 テスト
		2	わたしたちの成長と家族、地域 中学生にとっての家族	家庭生活に関心を持ち、地域の人々と関わろうとしている。 家族の一員として、家族や地域の人々とどう関わるか考え工夫している。	ノート 自己評価表 テスト
		3	よりよい家族関係を考える (ロールプレイング) 家族の立場で	家庭生活に関心を持ち、家族の一員として関わろうとしている。 家族の気持ちを想像し、自分なりに考え工夫している。 家族の一員として、家庭生活に積極的に関わることができる。	ノート プリント 自己評価表 テスト
		4	よりよい家族関係を考える 国際家族年から考えよう	家族・家庭の基本的な働きについて理解している。	
12	2 わたしたちと家族、地域	5	家族と地域のかかわりを考える 地域の活動を知ろう	地域の生活に関心を持ち、地域の人々と関わろうとしている。	ノート レポート 自己評価表 テスト
		6	家族と地域のかかわりを考える 地域の中でできること	地域の人々との交流の工夫を自分なりに考え工夫している。 地域社会の一員として、地域の人々と関わることができる。	
		7	家庭と地域のかかわりを考える (レポート)暮らしを見直す	家庭生活と社会生活のかかわりについて理解し、地域社会の一員であることに気づいている。	
		8	期末テスト		
指導方法の工夫改善等	課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用				
課題・提出物等	作品、ノート、自己評価表				
未到達者への対応	放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)				
総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス(期間指導項目・評価)

教科	家庭科	科目		期間	3学期(期末考査)
中高・学年	中学校・2年	授業時数	期間/年間	8 / 38	教科書名
副教材 1		副教材 2		副教材 3	東京書籍

到達度目標 (含定期テスト)		日常着の計画的な活用を考え、適切な選択をすることができる力を育成する。 衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができるための技能を身につけさせる。			
標準テスト等の目標					
月	単元・題材	時間	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 工夫・創造 技能 知識・理解	主な評価方法
1	4わたしたちの衣生活	1	私たちの衣生活 衣服計画を立てる	衣生活に興味をもち課題を見つけようとしている。 無駄のない衣生活を送るための工夫をすることができる。 自分にあった衣服計画を立てることができる。 既製服の選び方を理解している。	ノート 自己評価表 テスト
		2	衣服を選ぶ 既製服の選び方		
2	4わたしたちの衣生活	3	衣服の手入れと補修 (実習)着用後の手入れ	衣服の手入れに関心をもち、課題を見つけようとしている。 衣服の手入れについて関心をもって取り組んでいる。 製作品の考案、製作計画、製作作業について、課題をもち自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。 製作の計画をたて、安全で能率よく衣服を製作することができる。 (しるしつけ、縫い代のしまつ、仕上げ、用具の安全な扱い方)	ノート 実習態度 実習技能 作品
		4	衣服の手入れと補修 (実習)手縫い基礎		
		5	衣服の手入れと補修 (実習)手縫い基礎		
3	4わたしたちの衣生活	6	衣服の収納と再利用について考 資源・環境と衣服	衣服のゆくえに関心を持つ。 着なくなった衣服の再利用方法が工夫できる。 衣服管理ができるようになる。 衣服の管理方法について理解している。	自己評価表 テスト
		7	期末テスト		
		8	衣服と環境 (課題)リフォームに挑戦		
指導方法の工夫改善等	課題別小グループ学習、毎時間の自己評価カードの利用、視聴覚教材の利用				
課題・提出物等	作品、ノート、自己評価表				
未到達者への対応	放課後の補充学習や課題設定(休みを利用して仕上げさせる)				
総合的な学習の時間、道徳、特別活動等との関連等					

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（年間指導項目）

教科	技術・家庭科（家庭科）
科目	
中高・学年	中学校第2学年
単位数	
年間授業時数	38時間

教科書	東京書籍
副教材 1	新しい技術・家庭（家庭分野）学習ノート1
副教材 2	新しい技術・家庭（家庭分野）学習ノート2
副教材 3	
副教材 4	

到達度目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
-------	--

備考	
----	--

指導期間	1学期前半（中間試験）				1学期後半（期末試験）				2学期前半（中間試験）				2学期後半（期末試験）				3学期（学年末試験）			
到達度目標 (含標準テスト)	実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる 衣食住や家族の生活について関心を持ち、家庭生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用する力を育成する 衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造する力を育成する								生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技術を身につけさせる 家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身につけさせる											
標準テスト等の目標	食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択する力を身につけさせる。 実習計画を立て、安全と衛生に配慮し能率的に課題に向けて取り組む力を身につけさせる。				簡単な日常食の調理ができる力を身につけ、自分の食生活を工夫する力を育てる。 食生活の安全と衛生に注意して、食品や調理器具等の適切な管理ができるようにする。				簡単な日常食の調理ができる力を身につけ、自分の食生活を工夫する力を育てる。 販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用を工夫できる力をつける。 自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について考え、実践力を身につけさせる。				地域の人々の生活に関心を持ち、地域の人々と関わることができるようになる。 環境や資源に配慮した生活の工夫について、課題を持って解決しようとする力を身につけさせる。				日常の計画的な活用を考え、適切な選択をすることができる力を育成する。 衣服材料に応じた日常の適切な手入れと補修ができるための技能を身につけさせる。			
時間	主たる指導項目				主たる指導項目				主たる指導項目				主たる指導項目							
	教科書 頁	副教材 頁			教科書 頁	副教材 頁			教科書 頁	副教材 頁			教科書 頁	副教材 頁			教科書 頁	副教材 頁		
	2わたしたちの食品の選択と調理				1 食事作りに挑戦				1 よりよい食生活をめざして				1 4私たちのよりよい生活							
	1 食品が食卓にあがるまでを考える				調理と安全・衛生				《意見交流》				環境や資源を考えて生活する							
	2 家族のための食事の計画				2 食事作りに挑戦				2 食事作りに挑戦				2 2わたしたちの成長と家族、地域							
	《課題》家族のための食事計画				《実習》簡単な日常食				《実習》和食大好き				中学生にとっての家族							
	3 食品の選び方を考える				3 表示の重要性を考える				3 ともに生きるわたしたち				3 よりよい家族関係を考える							
	生鮮食品				《実験》表示をよみとろう				3 わたしたちの消費と環境				《ロールプレイング》家族の立場で							
	4 食事作りに挑戦				4 目的にあった食品を選ぶ				3 ごみのゆくえから考える				4 よりよい家族関係を考える							
	《実習》野菜の切り方				加工食品と手づくり食品				4 消費生活について考える				国際家族年から考えよう							
	5 食品の選び方を考える				5 目的にあった食品を選ぶ				5 物資・サービス・情報の選択				5 家庭と地域のかかわりを考える							
	加工食品・保存方法				《実習》ミートソース				5 消費者としての自覚を持とう				地域の活動を知ろう							
	6 食品の選び方を考える				6 目的にあった食品を選ぶ				《ロールプレイング》悪徳商法				6 家庭と地域のかかわりを考える							
	《実習》ジャムを作ろう				《実習》ハンバーガー				6 消費者としての自覚を持とう				地域の中でできること							
					7 よりよい食生活をめざして				7 中学生の消費者問題				7 家庭と地域のかかわりを考える							
					《レポート》環境問題と食生活				7 生活の中の環境への影響				《レポート》くらしを見直す							
					8 学期末テスト				8 自分の生活と環境とのつながり				8 期末テスト							
									8 グリーンコンシューマーになろう											
									環境を考えた消費生活の工夫											
備考	期末テスト ノート 実習態度・技能 作品								期末テスト ノート 実習態度・技能 レポート								期末テスト ノート 実習態度・技能 作品			